

# 豊中・サンマテオ姉妹都市

# 提携ニュース

# 2012



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



<http://www.cityofsanmateo.org/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会  
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo  
第42号



# サンマテオ市少年野球 親善訪問団が来豊

2011年は定期交流試合の年であり、8月9日にダニエル・ハリス親善訪問団長をはじめとした、サンマテオ市親善訪問団(大人9人、子ども18人)が来日。京都見学の後、豊中市へ来訪されました。滞在期間中は様々な行事が行われ、親睦を深めました。



## Welcome Home San Mateo



ホストファミリー対面式



表敬訪問

交流会



歓迎レセプション



## Farewell Party



さよならパーティ

### 来日中の日程

1日目	8月9日(火)	関西国際空港到着 京都へ移動
2日目	8月10日(水)	・京都見学
3日目	8月11日(木)	豊中市到着 ・ホストファミリー対面式 ・歓迎レセプション
4日目	8月12日(金)	・豊中市表敬訪問、市役所見学 ・日本伝統文化体験 ・親善試合第1戦
5日目	8月13日(土)	・親善試合第2戦 ・親善試合第3戦
6日目	8月14日(日)	・親善試合第4戦 ・親善試合第5戦
7日目	8月15日(月)	・親善試合第6戦 ・ガーデンパーティ
8日目	8月16日(火)	・奈良見学
9日目	8月17日(水)	・さよならパーティ
10日目	8月18日(木)	帰国



# 日本伝統文化体験

8月12日、豊中日舞協会 花柳季佳さん、当協会監事 村司紫峰さんのご協力により、日本舞踊と茶道の体験を行いました。



# 奈良見学

NARA

滞在8日目の8月16日、サンマテオ市訪問団と豊中市少年野球連盟関係者が奈良を訪れました。東大寺の大仏や興福寺国宝館の見学、奈良公園の散策などで古都奈良の文化に触れるひとときを過ごしました。



# 少年野球チーム 親善交流試合

1979年夏に豊中市少年野球チームが、サンマテオ市を親善訪問して以来、両市の親善試合交流が続いています。8回目となった今回は10日間の滞在中、豊中ローズ球場で全6試合が行われました。

BASEBALL



試合  
結果

チーム	試合	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合	総合結果
豊	中	11	4	5	6	5	3	3勝
サンマテオ		0	10	4	3	7	7	3勝



# SanMateo Visit report

サンマテオ市

訪問レポート

2011年7月27日～8月3日にかけて、「第39回高校生英語弁論大会」で豊中市長賞を受賞した柿本 早紀さんとサンマテオ市長賞を受賞した内藤 美月さんを親善使節としてサンマテオ市へ派遣しました。

お二人はホームステイを楽しむとともに、現地の人とのふれあいや文化の違いなど、様々な経験から刺激を受けて帰ってこられました。

豊中市長賞 柿本 早紀さん



私は豊中市の親善使節としてサンマテオ市に派遣していただきました。今回が私にとって初めてのアメリカでした。飛行機から見た景色は伊丹や成田とは全く違い、「ああ、アメリカに着いたんだ!」と思いました。到着ゲートを出ると、「welcome!」と書かれた紙を持ったホストマザーたちをすぐに見つけました。まず気づいたことは、空港から家に向かうとき、ホストファミリーの車のナンバープレートにstanfordと書かれていて、それはスタンフォード大学の卒業生であるという印でした。小さなことですが日本ではそのような発想はないと思いました。住宅街に入ると、どの家もカラフルでとてもかわいくて、まるで映画の世界にいるようでした。

1日目の夕食は近くのレストランに連れて行ってもらいました。日本と同じようにスープとメインディッシュを注文しましたが、出てきたスープの大きさには驚きました。スープだけでなく、お冷まで大きくて、思わず写真を撮ってしまったほ

どです。陽が落ちるととても寒く、私たちはジャケットが手放せないのに、店の外に出るとタンクトップで歩いている人がたくさんいました。

4日目には「Billy Eliot」というミュージカルを観に連れて行ってもらいました。4年前にイギリスでこの作品を観たのですが、英語が何一つ分からず、ジョークにも笑えなかった思い出があります。しかし、今回は少し分かるようになっていて、嬉しくなりました。私が一番強く感じたことは、イギリスの人の演じる作品とアメリカの人の演じる作品の違いでした。同じ作品でも、アメリカで観たBilly Eliotは演者一人ひとりの個性が強すぎるくらい表れており、国の違いの良さを実感した瞬間でした。

また、私はサンマテオ市に派遣していただくまで英語を話せるようになることだけに興味がありました。しかし今回の派遣で、それぞれの国で育った人の持っている感覚や、常識、その他にも様々な違いがあると思いました。自分の言葉が相手にどのようなニュアンスで伝わっているのか、どう感じるかの違いは言語だけでなく、育った環境や文化の差にもあると思うからです。その違いを共有したり話し合ったりする為のツールとして、英語を話す力が欲しいと強く感じたのです。そう感じる事が出来たのは、サンマテオで出会った皆さんが本当に優しくかったからです。出会えた方すべてに、感謝と今感じている幸せを伝えたい、自分が困ったときに助けを求めただけでなく、相手を思いやる言葉も伝えたいと思いました。

もう一つ感じた違いは、ホストファミリーをはじめアメリカの家族はとても仲が良いということです。夕食後には毎晩のように映画を見たり、毎週土曜日に一緒にドーナツを買いに行ったりしていました。

言葉の違いだけでなく、食べ物などのサイズや車社会であることなど日本との違いをたくさん感じた一週間でした。その違いを理解して、自分の考えをもっと伝えられるようになりたいと思いました。また、多くの違いを感じながらも、日本でもアメリカでも変わらなかったのは人の優しさでした。言語の壁を乗り越えれば素敵な出会いの幅が広がる、そう思うことができました。海外旅行とは違った人との出会いや優しさを感じることができ、親善使節としてアメリカに派遣していただいたことに感謝します。この素晴らしい機会をきっかけに、様々なルーツを持つ方々と交流し、文化、考え方の違いなどを共有できる英語力を身につけたいです。そして、東日本大震災で世界の人々が褒めた日本人の良さを生かしていきたいです。協会の方々やホストファミリー、サンマテオ市で出会った方々、支えてくれた全ての方々に感謝します。

ありがとうございました!

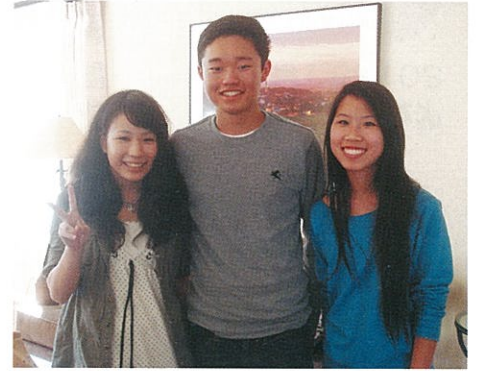




私がサンマテオ市に派遣していただいて学んだことは数えきれないほどあります。私にとって人生で初めての海外でした。出発前は不安なことだらけで、ドキドキしていましたが、出発の日が近づくとつれ、その不安はサンマテオ市で

過ごす1週間への期待が変わっていきました。我が家は4年前、ホストファミリーとしてサンマテオ市の少年野球チームのメンバー2人を受け入れましたが、そのとき私は恥ずかしさのあまり一言くらいしか話せず、とても後悔していました。今回は、帰国してからもっとしゃべっていけば…と後悔することがないように、自分からどんどん話しかける勇気を持っていこうと決めていました。その期待と勇気を胸にサンフランシスコに飛びました。

サンフランシスコ空港ではホストマザーと姉妹都市協会のムサンテさんが迎えてくださいました。その後、キャンプ中の子どもたちを迎えに行きました。そこで子どもたちと初めて会ったのですが、子どもたちはあまり恥ずかしがっている様子もなく、アメリカの遊びを私たちに教えてくれました。それから、ファミリーと私たちが夕食を食べにレストランへ行きました。もちろん、メニューは全て英語でも困りましたが、ホストファザーが1つ1つ丁寧に料理を説明してくださったので無事に注文することが出来ました。しかし、出てきた料理は想像を絶するサイズでした。事前に聞いていましたが、アメリカでは食べ物のサイズが尋常ではない大きさであることを実感しました。



その後は、毎日のように買い物をしていました。ホストマザーは私たちのわがままを聞いて、いろいろな所に連れて行ってくれました。2日連続で同じお店にチョコレートを買に行ったこともありました。ホストマザーと娘のテイタムと劇を観にも行きました。私は日本を出発する前にその劇の映画版を何度も日本語や英語で見ていたので、劇を楽しむことができました。また、別の日には友人のカザン一家が海を見に連れて行ってくれました。この広い海洋の先に私たちが住んでいる街があると思うと何だか不思議な感じがしました。

私たちの過ごした一週間は何よりも楽しく、学びが多く、有意義な時間でした。また、この派遣を通してたくさんの貴重な出会いがありました。ホストファミリーはもちろん、子どもたちの友達、いろいろな所に連れて行ってくださったカザン一家、夕食に招待してくださったトゥーメイ家、シモノ一家……皆さん、とてもやさしく、楽しい方々で、私たちが楽しめるように考えてくださり、本当に感謝でいっぱいです。

これからはより一層英語の勉強に励み、またいつかサンマテオ市を訪ねたいと思っています。ありがとうございました。



その後は、毎日のように買い物をしていました。ホストマザーは私たちのわがままを聞いて、いろいろな所に連れて行ってくれました。2日連続で同じお店にチョコレートを買に行ったこともありました。ホストマザーと娘のテイタムと劇を観にも行きました。私は日本を出発する前にその劇の映画版を何度も日本語や英語で見ていたので、劇を楽しむことができました。また、別の日には友人のカザン一家が海を見に連れて行ってくれました。この広い海洋の先に私たちが住んでいる街があると思うと何だか不思議な感じがしました。

私たちの過ごした一週間は何よりも楽しく、学びが多く、有意義な時間でした。また、この派遣を通してたくさんの貴重な出会いがありました。ホストファミリーはもちろん、子どもたちの友達、いろいろな所に連れて行ってくださったカザン一家、夕食に招待してくださったトゥーメイ家、シモノ一家……皆さん、とてもやさしく、楽しい方々で、

私たちが楽しめるように考えてくださり、本当に感謝でいっぱいです。

## サンマテオ市 訪問記

永原武敏前事務局長からのサンマテオ市訪問記をご紹介します。

2011年7月29日から8月3日まで、私は夏季休暇を利用して英語が堪能な職員の前田真吾さんとともに、かねてより気がかりだった豊中市との姉妹都市であるアメリカ・サンマテオ市を訪問しました。2010年、國貞眞司会長が現地で体験されたように、高校生親善使節派遣の時期に自らも実体験しておく必要があると考えたからです。

現地では、派遣された柿本早紀さんや内藤美月さんはもちろん、陽子アンダーソンさんや米国サンマテオ市姉妹都市協会のダニエル・ハリス会長、ホームステイ先のコンスタントご一家の親切な対応にふれ、確固たる友情と親善の輪が広まるものと確信しました。また、サンマテオ市職員の皆さんには大変お世話になり、親善、交流の意義を十分体験できました。特に、ジョージ・ムサンテさんのサンマテオ市職員グループ・ネットワークのおかげで、図書館などの公共施設、小学校、中学校、サンマテオ高校、サンマテオ大学など多くの公共施設を視察することができました。また、今回の訪問を快く迎え入れていただいたマッシュズ市長、ロバート議員、リム議員、ゴメス秘書長に深く感謝します。豊中・サンマテオ両市の姉妹都市友好関係が着実・確固たるものとなるように念願してやみません。





# 第40回 高校生英語弁論大会

## The Annual English Speech Contest

2012年1月28日(土)、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の「第40回高校生英語弁論大会」がとよなか国際交流センターで開催され、11校20人の高校生の皆さんが参加しました。



Congratulations

豊中市長賞



山本 悠馬さん  
私の夢  
池田高等学校

サンマテオ市長賞



上田 紗有佳さん  
自閉症から学んだこと  
梅花高等学校

国際ソロプチミスト  
特別賞



納 茜さん  
地球に生きる一人として  
箕面高等学校

優秀賞



藤田 栞さん  
本当に恵まれた暮らしとは  
梅花高等学校

優秀賞



溝口 聖太さん  
音楽の力  
箕面高等学校

豊中市長賞の山本さんは、入院した時の看護師から感銘を受け自分も看護師をめざすようになったこと、将来は“国境なき医師団”に参加するなど、病院で働くだけでなく世界中の人々や子どもたちを助けることができる、国際的な看護師になりたい、と語りました。

サンマテオ市長賞の上田さんは、自閉症の友達と過ごすことによって、それは程度の差があるだけで個性のひとつであること、自閉症であっても健常者であってもお互いを理解するには努力が必要であることなど、たくさんの学びがあったということを語りました。

国際ソロプチミスト特別賞の納さんは、マイケル・ジャクソンの死がきっかけとなって、彼の曲を聞き、差別について考えるようになったこと、いつか差別や偏見がなくなり、自分の個性に誇りを持って生きられる日が来ることを望んでいると語りました。

審査員は千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学准教授のウィリアム・クラインさん、大阪女学院大学特任教授のマイク・オーカヒルさん、当協会監事の川合隆子さんの4人をお願いしました。



大会終了後、審査員からは「テーマが多岐にわたり内容も充実していたため、今年は時間が経つのが早く感じられた。また、自分の話しているテーマを理解して自分のものになっていることに審査員一同、感動するとともに5人に絞ることが心苦しい状態であった。ただ、発表時は小道具を持ち込まずに、スピーチだけで勝負していただきたい」との講評をいただき、緊張のうちにも和やかな雰囲気の中、大会を終えました。

なお、豊中市長賞受賞の山本さんとサンマテオ市長賞受賞の上田さんは、今年の夏に1週間程度、親善使節としてサンマテオ市へ派遣される予定です。

また、高校生の発表後、審査結果発表までの時間を利用して「中学生英語スピーチ発表会」を行いました。

中学生によるスピーチは昨年に引き続き2回目で、若い世代に当協会のことを知ってもらうこと、また英語に慣れ親しんでもらう機会となることを目的として開催しました。

今回は豊中市立中学校18校へ募集し2校より12人の応募がありましたが、抽選により選ばれた4人の皆さんに英語スピーチを発表していただきました。英語に慣れ親しんでもらうことを目的としているため、審査は行いませんでしたが、皆さん緊張しつつもこやかに、一生懸命発表してくださいました。

発表後、豊中市教育委員会の山元教育長より表彰状を、当協会の國貞会長より記念品を贈呈していただきました。



学校名・学年 発表者	演 題
第五中学校 1年 井上 雅也さん	My school わたしの通う学校
第五中学校 2年 谷口 咲さん	Do you know San Mateo? サンマテオ市を知っていますか?
第五中学校 1年 斎藤 結衣さん	Our beautiful city, Toyonaka 私たちの美しい町、豊中
第九中学校 2年 真鍋 綾さん	Teachers of my school 私の学校の先生のすごいところ

## 「豊中市・サンマテオ市姉妹都市高校生親善派遣交流同窓会」が発足しました

2011年7月に親善使節OB・OGたちによる「豊中市・サンマテオ市姉妹都市高校生親善派遣交流同窓会」が発足しました。

この会は、親善使節派遣経験者の親睦をはかるとともに、豊中・サンマテオ両市の親善と交流を支援することを目的として発足しました。会員は、親善使節経験者を中心に、高校生英語弁論大会参加者および同会に賛同する方で構成されています。

会長には、第38回高校生英語弁論大会で豊中市長賞を受賞、2010年に親善使節としてサンマテオ市へ派遣された野村幸恵さんが就任されました。

親善使節派遣として派遣された経験をお持ちの方、「豊中市・サンマテオ市姉妹都市高校生親善派遣交流同窓会」にご興味を持たれた方はぜひ当協会にご連絡をください。

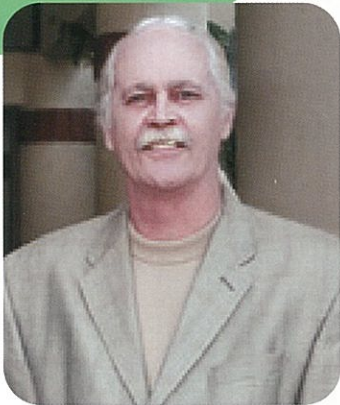


※国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中・千里からの寄付により設けられています。



## 新市長はブランド・グロットさん

2011年12月にサンマテオ市議会の改選があり、  
新市長はブランド・グロットさんに決定しました。  
新しい人事は以下のとおりです。



■ 市長：ブランド・グロット	Brandt Grotte
■ 副市長：デイビッド・リム	David Lim
■ 議員：モーリーン・フレシェット	Maureen Freschet
■ 議員：ジャック・マシューズ	Jack Matthews
■ 議員：ロバート・ロス	Robert Ross
■ 米国サンマテオ市姉妹都市協会会長：ダニエル・ハリス Daniel Harris	



2013年(平成25年)10月  
豊中市とサンマテオ市は

姉妹都市提携

50周年  
を迎えます!!



### 前サンマテオ市長 ジョン・リー氏 ご逝去

サンマテオ市長として豊中・サンマテオ両市の友好の  
推進にご尽力をいただいたジョン・リー氏が、今年5月7日  
にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

ジョン・リー氏は、1998年12月にサンマテオ市議会議員に就任。  
2011年12月までの間に3期市長を務められました。

### 前名誉会長 一色 貞輝氏 ご逝去

名誉会長として当協会の発展にご尽力をいただいた  
一色貞輝 前豊中市長が、昨年8月29日にご逝去され  
ました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 2012年度事業計画

- ① 第40回高校生英語弁論大会成績優秀者2人のサンマテオ市派遣  
●派遣者：豊中市長賞 山本 悠馬さん  
サンマテオ市長賞 上田 紗有佳さん
- ② 第41回高校生英語弁論大会の開催
- ③ 広報活動の推進  
●姉妹都市提携ニュース(第42号)の発行
- ④ 姉妹都市提携50周年に向けての活動  
●姉妹都市パネル展の開催
- ⑤ その他協会の目標達成のために必要な活動